

## 現行計画の進捗状況等について

### 1 京都市未来こどもはぐくみプラン

#### (1) 施策の進捗状況

年度	施策数	完了	推進中(充実)	推進中(継続)	着手前
		27	28	29	30
27	247	2	69	174	2
28	247	3	46	198	0
29	247	4	50	193	0
30	247	4	45	198	0

※ 第1期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況については、令和元年度第1回「京都市はぐくみ推進審議会」(7月22日開催)及び各部会において、令和2年度～6年度の第2期計画案と併せて、平成30年度の実績を報告済み

#### (2) この間の主な取組

- ア 産後ケアの推進：産婦健診ホッとサポートの創設 (H29.4.1～) 等  
支援を要する産婦の医療機関からの情報提供件数 ②1,151件, ③01,294件
- イ 保育所等及び学童クラブ事業における年度当初待機児童ゼロの継続  
保育所等6年連続・学童クラブ事業8年連続 (H31.4.1時点)
- ウ 児童虐待根絶に向けた機能強化
- 課題や困りを抱えた家庭への寄り添い支援を充実するため、各区役所・支所子どもはぐくみ室の職員を計24名増員 (H31.4～)
  - 子どもの安全確保等を提供するため、児童相談所の職員を計5名増員 (H31.4～) 等
- エ 児童養護施設等の退所者支援の充実
- 本市が所管する全ての児童養護施設(7箇所)及び児童心理治療施設(1箇所)に、自立支援コーディネーターを配置(各1名)し、退所後の自立に向けた入所中からの計画的な支援及び退所後の切れ目のない支援を実施 (H30.4.1～)
  - 退所後の社会生活に必要な知識等を入所中から身に付けるための生活ハンドブック「船出のためのナビ」の発行 (H30.3) 等
- オ 学校運営協議会の設置拡大  
②7233校・園→③0245校・園(全国最多)(※各年度末時点)
- カ 小中一貫学習支援プログラム等の実施による学力の向上  
全国学力・学習状況調査市立小学校1位 (H30政令市20自治体)

#### (3) 今後に向けた主な課題

- ア 子どもを楽しく生み育てられる環境づくり  
少子化対策、幼児教育・保育の質の確保・向上(保育の担い手確保、保育利用時間の長時間化対策など)、地域ぐるみの子育て支援 等
- イ 困難を有する子どもやその家庭への支援  
医療的ケア児・障害児への対応、児童虐待対策、社会的養護の推進 等

## 2 はばたけ未来へ！ 京都市ユースアクションプラン

### (1) 施策の進捗状況

年度	施策数				
		完了	推進中（充実）	推進中（継続）	着手前
28	343	21	39	283	0
29	360	31	33	296	0
30	373	47	23	303	0

### (2) 行動計画改定版策定時の数値目標と平成30年度実績

項目	目標 (平成32年(令和2年)度まで)	実績 (平成30年度)
青少年活動センターにおける地域交流事業数	65件	63件
青少年活動センターで活躍するボランティア数	970人	883人
青少年が参画している附属機関等の割合	20%	22.4%
ユースアクションプラン認証事業数	190件	177件
当該年度に京都若者サポートステーションの支援により、就職した人数	140人	45人
子ども・若者総合支援により、困難を有する子ども・若者が自立に向けて改善した割合	70%	43.5%

### (3) この間の主な取組

#### ア 青少年の市政参加の促進

青少年が参画している審議会等の割合について2年連続で目標達成（②21.1%，③22.4%）

#### イ 青少年活動センターの機能強化

同センターの事業内容として、課題を抱えた青少年に対する取組を条例上明記（H30、京都市青少年活動センター条例を一部改正）

#### ウ 青少年活動センターを拠点とした若者文化の発信

若者文化発信事業「ユスカル！～若者文化市～」を開催（H30、参加者数約3,000名）

### (4) 今後に向けた主な課題

#### ア 若者のライフデザイン形成

キャリア教育の推進、成年年齢引下げへの対応 等

#### イ 社会参加の促進

地域活動や市政への参加の更なる促進 等

#### ウ これまでの若年層への支援に加え、長期化・高齢化するひきこもりへの対応

早期対応、当事者や家族に寄り添った支援の推進、関係機関の連携 等

### 3 京都市貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画

#### (1) 施策の進捗状況

年度	施策数				
		完了	推進中（充実）	推進中（継続）	着手前
29	133	0	27	105	1
30	133	1	17	115	0

#### (2) この間の主な取組

- ア 地域や民間団体による子ども食堂など子どもの居場所づくりの取組への支援の充実
- ・ 開設資金の補助制度創設 (H29～, 補助件数: ②915件, ③011件)
  - ・ アドバイザー事業の実施 (H29～, 派遣回数: ②963回, ③069回) 等
- イ 生活困窮世帯の子ども等に対する学習支援の充実
- ・ 実施拠点の増 (②917箇所→③018箇所)
  - ・ 夏休み学習会の実施 (H22～, 学習会登録者数: ②9201人, ③0321人) 等
- ウ 全市立学校に「スクールカウンセラー」を配置完了 (H27年度)
- エ 「スクールソーシャルワーカー」の配置拡充 (②723校→③051校)  
※ 令和元年度に全中学校区に配置完了
- オ 社会全体で子ども・若者を支える「京都市はぐくみ未来応援事業」の創設  
「子ども・若者のために何かしたい」という思いの具現化  
(H29～: ②9195件, ③0211件の寄付)

#### (3) 今後に向けた主な課題

- ア 子どもや若者への生活・学習・社会体験の推進  
子どもや若者の居場所づくり, 学習支援, 文化芸術や社会体験づくり 等
- イ 家庭への子育て・経済・就労支援の推進  
妊娠期からの切れ目のない支援, 幼児教育・保育の無償化の円滑な実施,  
ひとり親家庭支援センター「ゆめあす」におけるひとり親家庭支援 等
- ウ 貧困家庭等を支える環境づくりの推進  
地域, 関係機関, 企業等と連携した情報共有の強化ときめ細かな情報提供 等